

曹青通信 いわて

発行者
岩手県曹洞宗青年会
新沼孝純

発行所
岩曹青事務局

〒028-1101
岩手県上閉伊郡大槌町
吉里吉里4-4-7吉祥寺内
TEL: 0193-44-2318
FAX: 0193-44-2331
題字/宗務所長
海野義清老師
編集/事業部
印刷/竹村印刷所

年頭のご挨拶

岩手県曹洞宗青年会

会長 新沼 孝純

仏紀二五七七年を迎え、
謹んで新年のご挨拶を申し
上げます。

岩曹青の会長として早一
年が経とうとしております。
昨年中の青年会活動に対し
まして、賛助会員老師をは
じめ、県内各ご寺院様、会
員諸師、協力団体・個人の
皆様のご理解とご協力を賜
りましたことに厚く感謝致
し、御礼を申し上げます。
昨年十一月十日に仙台市
で開催されました東北地方
集会「宮城大会」に於いて
は、多くの当会会員の参加



12月9日 軽米町社会福祉協議会にて

協力がああり、各々研鑽を積
んで頂きました。本年は十
月二十日に青森県に於いて
開催の予定です。積極的な
参加協力をお願い致します。
同年十二月九日には会員
であります清水大徳師が住

職をつとめられて

いる、十二教区徳

楽寺様を会場に軽

米町内にて歳末助

け合い寒風托鉢を

行い、会員諸師・

賛助会員老師、四

十一名のご参加を

いただきました。

前日の天気予報で

は高確率で雨、し

かし当日は曇りな

がら寒さも気にな

らず一心に歩く事

が出来ました。軽

米町は平成十一年十月二十

八日の集中豪雨による水害

に遭われ、当時会長を務め

られておられた平井正道老

師指揮の下、当会で援助活

動をさせていただいた事の

ある縁の深い地域でもあり

ます。今はその痕跡も目に

することなく、穏やかに流

れる川を眺めながら、大勢

の地元の皆様からの浄財を

お受けいたしました。集ま

りました浄財10万9千6百

66円は全額、地元の社会福

祉協議会へお渡ししてまい

りました。その後、八戸に

場所を移し忘年会を開催い

たしました。会場には、十

二教区長老師をはじめ、賛

助会員老師のご出席を仰ぎ、

前会長平栗壽隆師よりご挨拶

を頂戴した後、楽しく懇

親を深めることが出来まし

た。十二教区の皆様には大

変お世話になりましたこと

を心より御礼申し上げます。

さて昨年、当会が発行し

ております「聞いてわかる

檀信徒法要回向集」の改訂

増刷が決まり、八月二十五

日の教養セミナー後改訂第

五版編纂委員を組織し、九

月六日奥州市プラザイン水

沢に於いて、高橋哲秋老師、

熊谷光洋老師、佐藤則元老

師、瀬川一矢老師、そして

私と事務局次長渡邊博三師

の六名で改訂作業に入り、

その後数回の調整をはかつ

て昨年末作業を終了し印刷

をお願いして本年度無事完

成発行に至りました。編纂

委員の各ご老師におかれま

しては、難しい作業を丁寧

に根気よく続け、最後まで

ご尽力頂きました誠に有難

う御座いました。ぜひとも

会員諸師にはひとつの参考

書としてお使い願えればと

思います。

最後に、本年は東北地区

連絡協議会会長に選出され

た稲田泰久師を中心に第十

八期地協執行部が始動致し

ます。当会も共に青年会発

展の為に精進して参りたい

と存じます。各会員宗師も

宜しくご協力お願い申し上

げます。

合掌



浄財109,666円

12月9日、12教区軽米町 徳楽寺様を会場に平成22年度歳末助け合い寒風托鉢が行われました。県内各地より会員宗師41名が集まり、天候に恵まれた中軽米町内を2時間に亘って歩き、皆様からの心からの浄財109,666円をお預かりいたしました。即日この浄財は軽米町社会福祉協議会へと寄付させていただきました。

徳楽寺様をはじめ、12教区の皆様そして軽米町の皆様、本当にありがとうございました。

歳末助け合い寒風托鉢



去る平成二十二年十一月十日、仙台サンプラザに於いて開催された第三十五回曹洞宗青年会 東北地方集會「宮城大会」のご報告をさせていただきます。今年度は宮城県曹洞宗青年会創立四十周年記念大会も併催され「われはほとけにならずとも」というテーマにおいて記念講演講師に水谷修氏においていただいで、岩手県からは三十名が、また東北各県より百五十名の青年僧が一堂に会しての開催となりました。

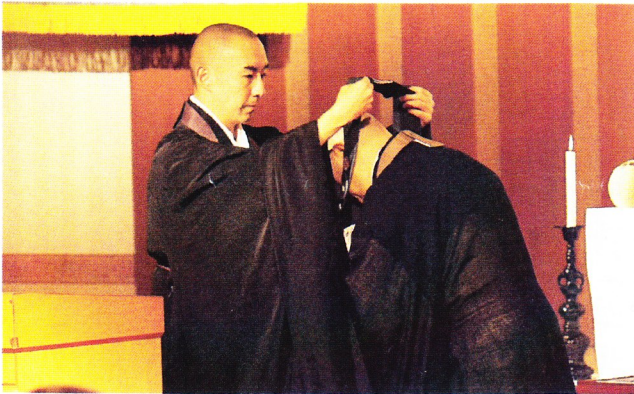
常任幹事会終了後、記念式典が行われ宮城県曹青門脇昌文会長より、東北地協榎山武浩会長を介して次年度開催である青森県の金山晃道会長へと絡子の伝達が為されました。その後会場を移し「夜回り先生」などの異名を持つ水谷修氏による講演会が行われました。水谷氏は夜回り活動を始めるにあたった理由、そしてそれからの経緯などを活

東北地方集會「宮城大会」

動のエピソードを交えて語り、学校・家庭が近年子供たちの心が休まる場所ではなくなつて来ているのだとして、我々大人たちに家庭内において子供達に優しい言葉をかけてあげて欲しいと訴えかけていました。優しい言葉、慈しみを持った慈愛の言葉とは、四摂法

の愛語に大いに通じるのではないのでしょうか。

そのほか、水谷氏は青年会宗侶に対しては「心が安らぐ場所としてのお寺作りをしてもらいたい。そして夜の街にしか逃げ場の無い子供達にお寺を開放してあげてほしい」と提案し、我々宗門寺院が今後この問題にどのように関わって行くべきなのか改めて考える機会となったのではないかと思います。



旅行のことならなんでもご相談下さい
お電話いただければ係員がおうかがいします

ASHOKA アシカコース

株式会社 岩手ビーエス観光
岩手県知事登録第2-86号 JATA協力会員
岩手県旅行業協会会員

〒020-0016 盛岡市名須川町31-5
TEL (019) 635-0303
FAX (019) 635-0019

みちのく曹洞宗の古刹

奥の正法寺

〒023-0101 岩手県奥州市水沢区黒石町字正法寺129
TEL : 0197-26-4041 / FAX : 0197-26-4107

葬儀、御法事、仏壇、仏具の御相談は

アーバンメモリアルホール 大船渡

岩手県大船渡市大船渡町字地ノ森35-17
TEL 0192-26-4600
FAX 0192-26-5389

互助会
新規会員
募集中

仏事専門の
セレモニーホール
だからこそ
サービスがあります

葬儀なんでもテレフォン
0197-35-5533

北上・江刺・水沢
葬祭センター
孝輝殿
こうきでん
奥州市江刺区愛宕字大柵89-2

Banquet & Bridal
SUNPLAZA OIZEN
http://www.oizen.com

サンプラザ及善

〒029-0803 岩手県一関市千厩町千厩字町221
TEL : 0191-52-2432 FAX : 0191-52-4660

「門前の小僧 習わぬ…」

岩手県曹洞宗青年会

副会長 千田 康道

思い起こせば私が精進料理に出会いましたのは、短い地方僧堂での安居を終え師寮寺へ戻りました際、ご縁がありまして奥の正法寺様へ出入りをさせていただきました事に始まります。

その頃、正法寺様では参籠・参拝の方々へ正法寺塗りのお膳と器で本格的な精進料理をお出ししておりました。典座寮は典座渡辺春覚老師、副典谷本俊昭老師、大場浩俊老師、故高倉公淳老師、徳山伸一禅兄と言うそうそうたる方々がおいでになりました中、初めは雲水さん方と一緒に器やお膳といった漆器類の取り扱い方やら会場準備、片付け、掃除の仕方を御指導頂き、

その際に料理の基本等々本當に多くの事を学ばせて頂きました。又、正法寺様が平成の大改修に入るまで毎年緑蔭禅の会場でしたので自然とお手伝いをさせて頂いておりました。以来、緑蔭禅では典座係、典座として長く随喜させて頂きました。

私が典座を務めさせて頂く中で注意をしていた点がいくつか有ります。一つ目は衛生面には最大限の注意をおく事、もし食中毒が発生してしまつたら随喜衆、参禅者共に緑蔭禅どころではなくなつてしまいますので。二つ目には食材を無駄にせず経費を削減し出来るだけ美味しい料理を作る事。食べ物に対する感謝の念を忘れる事なく、出来るだけ食べ残し、生ゴミとして廃棄したくないと言う思いと私は高価な食材を扱いきれませんので、家庭で

普段食べ慣れた食材を中心に後は手数を惜しまず掛ける事でバリエーションを増やして行きました。三つ目は食材という命と対するにあたつて真剣に相対すること。今更ですが私どもは生きるために他の命を頂いています、その命に対して一生懸命に手を加え料理という命に変化させるためには食材に敬意を払い一つ一つの工程に手間を惜しまず注意を怠らず、もし面倒だという気持ちが起きてきたら食べて下さる方々の顔を思い浮かべる事。四つ目は精進料理は一人では作り出せないものですから和合僧の気持ちをお大切に。当然の事ながら法要と同じく実によくの方々の手をお借りして初めて作り出す事ができるものからです。

時代が変わり厨房に入り包丁を振るう諸禅兄、諸師も大勢いらつしやるかと思

いますが、未経験の方はぜひ体験頂ければと思います。乱暴な言い方ですがどんな著名な料理人でも料理を作る際にやっている事は切る・煮る・焼く・揚げる・炒める・和える。この位で誰にでも出来る事で、家庭のお台所を預かる方にとっては日常の事です。ここに、誰かの為に心を込めて一生懸命に調理にあたるのであれば食材の種類に関わらずでき上がったものは精進料理だともいいます。それは言葉と同じように誰かを勇気づけることも、優しく包み込み癒す事も出来ると思います。

最後に、数年に渡つて典座を勤めさせて頂き貴重な体験が出来ましたのも、典座系として随喜頂きました多くの諸禅兄、諸師のお力添えが有ればこそでした、心より御礼申し上げます。

合掌

陸中海岸国立公園
陸中海岸の霊場

釜石大観音

釜石市大平町釜石大観音 ☎0193-24-2125
釜石市大只越町石応禅寺 ☎0193-22-4080

真心込めてお世話させていただきます

那須野葬祭社

〒029-0603
岩手県一関市大東町沖田字向山39-3
TEL: 0191-74-3199 FAX: 0191-74-3533

梅花流詠讚歌 について

岩手県曹洞宗青年会

副会長 清水 昌俊

「梅花流」は丹羽仏庵老

師（静岡洞慶院住職）が、一九五二（昭和二十七年）年の高祖道元禅師七百回大遠

忌の記念事業として、曹洞宗の新たな布教伝道の方法となる御詠歌講の創設を宗務庁に対して進言され、各流派の組織や運営方法、御詠歌を聴き、歌詞を制定する委員会の開催を経て創立されました。「梅花流」と

いう流名は、両祖さまが特に梅花を愛でられ、梅花と春の関係をを用いて、精進を重ねね仏道修行に邁進するところこそが「さとり」その修行こそが「さとり」そのものであると説かれていた。に因み名付けられました。

「梅花流」には三つのお

誓いがあります。お誓いは誓願であり、精進であり、願生です。

私達は梅花流詠讚歌を通して正しい信仰に生きます。

私達は梅花流詠讚歌を通して仲よい生活（くらし）をいたします。

私達は梅花流詠讚歌を通して明るい世の中をつくり

ます。正しい信仰とは、仏祖の教えを梅花流詠讚歌を通して、正師のもとで学び、精進し、実践していくこと。

仲よい生活（くらし）とは、互いに人格を尊重し、日々の生活の中で慈悲心をもつて、同行同修の努めを果たしていくこと。

明るい世の中とは、他の人の為に菩薩行を実践し、一人ひとりが会い和して生活していく仏の国を建設していくことです。

高階瓏仙禅師が「歌声に仏まします梅花流」と詠まれておりますが、これは春が梅を咲かせるのではなく、

仏教を学び実践する真摯な精進修行、そして詠道への精進が、この世界を「春（仏国土）」にするということであり、まさにお誓いの精神そのものであります。

お誓いは仏教徒として「私の信仰宣言」であり、この心を常に持ち続け、日々精進していきたいものであります。

梅花流指導必携では、詠唱のころを次のように説明しております。

「詠讚歌は仏徳賛歎の音楽であるので、法悦・感謝・報恩の念をもつて心清浄・身端正にお唱えしなればならない。声の美麗や節の巧妙を誇ることなく、初心を忘れず、同修を旨とし、自己の研鑽に努めるべきである。」

確かに梅花流には詠唱や作法の型や技術が必要ではあります。それだけにと

らわれてはなりません。「譜にあらず、節にあらず、声ならず。詠歌の道は

その奥にあり」仏祖正伝の教えにしたがって行じる詠唱の姿は、まさしく「仏作仏行」であるということ

を忘れてはなりません。最後になりますが、梅花流詠讚歌という、とつつきにくいかもしれませんが、私も最初は、気はずかしいやら、難しいやらで、何度も諦めかけましたが、ご指導いただいた師範老師の方々をはじめ、同行同修のお仲間とご縁を頂戴し励まされ、なんとかここまでやってまいりました。これこそ「大衆の威神力」でございます。今は宗務所の指導者養成講座や、岩手県師範会で初心者向けの講習を開講しておりますので、少しでも興味をお持ちであれば、ぜひ受講していただきたいと思

います。青年会会員諸兄、寺族様方、そして檀信徒の皆様、ぜひ私達と一緒に詠道精進いたしましょう。

合掌

【葬儀・仏事の事ならお任せください】

やおたつほうおんしゃ

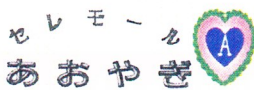
(有)八百辰報恩社

葬祭会館 翠蓮 -SUIREN-

岩手県一関市大東町大原字一六五二

TEL 0191 (72) 2150 / FAX 0191 (72) 2188

～故人を偲ぶ大切なひとときを
真心こめてお手伝い致します～



KKR
国家公務員共済組合連合会特約店
曹洞宗宗務庁(梅花講)指定店
全国葬祭組合連合会加盟店
葬祭会館 **エヴァホール**

株式会社 あおやぎ

本社 〒029-0523 岩手県一関市大東町櫛沢字八幡前15-1
TEL 0191-75-3000代
FAX 0191-75-2629



平成二十三年二月二十二日、盛岡市報恩寺様を会場に第二回教養セミナーが大本山永平寺顧問報恩寺住職天藤全孝老師を講師にお迎えして開催されました。開講式が当会会長導師のもと法堂において執り行われ、天藤老師に「晋山結制の心得」というテーマで講義をしていただきました。

講義の中で天藤老師は信仰の為の「塔」、教育の為

教養セミナー 「晋山結制の心得」

の「堂」、教化の為の経営をする「庫」の三つが揃っていないければ「寺」とはいえず、その「寺」としての北とは山であり、晋山―山へ晋(すす)むということとは「寺」に入ること同義なのだとして、その後は実際の差定を例にとり微細にわたつての講義となり、当日聴講に訪れた会員諸師四十三名が耳を傾けました。



釜石セレモニーサービスセンター
有限会社 三浦葬儀社
 仏壇・仏具・生花・盛篋
 釜石店 釜石市松原町3丁目3番10号
 電話 0193-22-3660代
 FAX 0193-22-3667番

ご葬儀と佛事のご相談は
株式会社 八重樫葬具店
 仏壇と花・葬具の専門店
 北上市大通り4丁目7-2 ☎63-2125代
 ☎63-3058
 ☎63-6311 (FAX)

先祖の供養は子孫の繁栄
岩優石の
 (岩手県優良石材店)
(有) 佐々木石材
 奥州市水沢区水沢工業団地内(旧火葬場通り)
 TEL水沢(24)1333・夜間 水沢(23)4555



名勝 **げび溪** 舟下り
 ～げび溪遊覧船案内所～
 バスターミナル(食事・お土産)
 (有)げび観光センター
 (有)げびレストハウス
 岩手県一関市東山町長坂字町376
 予約センター ☎0191(47)2341・3355
 FAX0191(47)3288



北上 霊柩 **高橋葬儀社**
 〒024-0062
 北上市鍛冶町一丁目4-57
 TEL 0197-63-2823 FAX 0197-63-2848
 ・フリーダイヤル 0120-55-2823

Palace Suzuki MARIAGE
 パレス・スズキ マリアージュ
 ル・アンジュ
 〒029-0803 一関市千厩町千厩字石堂26-5
 TEL 52-5700 FAX 52-5611



教区便り

第一教区

我々一教区は「一九会」という青年会を通じ各法要研修・托鉢等の活動を定期的にさせていただいております。年々、若い青年僧も師寮寺におもどりになり以前にも増して活気に溢れよい雰囲気の中、互いを高め合っていると感じられます。

岩曹青に於きましても、近年教区内会員が増え活発的に会の企画等に参加している状況です。「一九会」同様に、今後も岩手県の青年僧として同事の心を持ち活動を続けて参りたいと思っております。

第二教区

去る一月十三日、盛岡市瀧源寺住職 下斗米宗智師が遷化されました。謹んでお悔やみ申し上げます。

第三教区

去る十一月十一、十二日の両日に渡り二戸市 龍岩寺様に於いて、岩館泰道老師の退薰式並びに岩館尚文師の晋山結制が法類、教区寺院多数随喜の中厳修されました。



新会員入会

二戸市明光寺徒弟、佐々木泰賢禅兄（二十六歳）が本会の正会員として入会いたしました。本会諸兄老師のご指導を宜しくお願いいたします。

第四教区

昨年、西和賀町沢内の玉泉寺様に於いて春期両祖忌法要、花巻市北笹間の東光寺様に於いて秋期両祖忌法要が厳修されました。

去る六月二十五日、二十七日の三日間、北上市正洞寺様（熊谷忠興住職）に於いて、本堂再建二百年を記念し、晋山結制及び南澤道人副貫首老師を戒師に迎えての法脈会が厳修されました。県内外より百五十人を超える御寺院様、並びに百人余の戒弟が集まる大法要



となりました。

また十二月十五日、花巻市東和町土沢に於いて有志による歳末助け合い托鉢を行いました。多くの方より浄財が寄せられ、花巻市社会福祉協議会東和支部に全額寄付させていただきました。

第五教区

昨年当会正会員の叟寺住職 渡邊泰裕師が、同じく寶積寺副住職 藤村貴泰師がそれぞれ結婚されました。

また、昨年十二月には恒例の歳末托鉢が行われました。生僧の空模様でしたが、温かい励ましのお言葉をいただき、心温まる思いでした。

第六教区

前号にも掲載されましたが、去る平成二十二年九月八日、当教区を会場に教区懇親会が開催されました。

ボウリング親睦会では二十数名の参加を頂き、手に汗握る熱戦が繰り広げられました。ボウリング親睦会終了後、水沢グランドホテルを会場に懇親会を開催。日頃からお世話になつており、

まず教区賛助会員様を始め、各教区よりたくさんのお席を頂戴し、ボウリング表彰式やビンゴ大会などの余興を楽しみ大盛会となりました。ここに感謝と共に御礼申し上げます。

最後に今年度より、西岩寺徒弟横合大宣禅兄が新会員となりました。ご指導宜しくお願いします。

第七教区

去る四月三十日、五月二日、寶持寺様に於いて村上国城師の晋山結制並びに本葬が厳修されました。

去る六月五日、六日、長泉院様に於いて鈴木道将師の晋山結制並びに本堂諸堂落慶が厳修されました。

第八教区

去る五月二十九日、三十日両日、東山町安養寺（佐藤則元住職）様において結制・開山四百回忌歴住報恩供養法要が、また九月十二日、東山町宗松寺（系坪龍道住職）様において、晋山・退薰・開山歴住忌法要が厳修されました。

両法要とも、多くの御寺院様・関係者各位のお力添えにて無事円状いたしました。

去る十一月二十四日、千厩町大光寺東堂 千葉法道老師が遷化されました。心よりご冥福をお祈りいたします。

第九教区

去る十二月三日、紫波町正音寺様を会場として当教区青年会主催の研修会を開催いたしました。本堂で拝登諷経を行い、講師の正音寺ご住職にお寺の由来等お話ししていただき、その後講

師さんを交え意見交換会をおこないました。研修会終了後の、懇親会では和やかな雰囲気の中楽しい時間を過ごしました。

十二月七日恒例の歳末助け合い托鉢が陸前高田市無極寺様を出着点として、会員五名参加のもと行われました。師走の肌寒い中沿道には大勢の皆様が集まり、心温まる善意の浄財をいただきました。ありがとうございました。お預かりした浄財は、陸前高田市社会福祉協議会に全額寄付させていただきますました。

第十教区

去る六月二十五日、釜石市石應禪寺様に於いて同寺十七世雲汀晴朗大和尚の密葬の儀が厳修されました。

去る一月二十一日、遠野市光岸寺様に於いて同寺十八世玄方秀齋大和尚の密葬の儀が厳修されました。十教区青年会「三一会」によるパソコン講習会が、

十月十八日遠野市あえりあに於いて二戸市聖福院住職成島伸龍師を講師としてお招きして開催されました。

第十一教区

平成二十二年七月三日、四日、岩泉町不味庵様において佐々木俊英師晋山式、ならびに九世孝順大和尚（世寿八十一歳）の本葬・小祥忌法要がとりおこなわれました。

七月四日には宮古市の華厳院三十三世晴山義胤東堂老師（世寿九十八歳）が遷化され、九月十四日に本葬儀がおこなわれました。

また七月九日に岩泉町の洞岩寺住職佐々木順一老師（同寺二十三世、世寿八十三歳）が遷化され、七月十三日に密葬が営まれました。十二月に宮古市寶鏡院二十六世菅谷鉄男東堂老師が遷化され、十二月二十九日に密葬が、平成二十三年二月十三日に本葬・大練忌法要がとりおこなわれました。

また、教区寺院持ち回りの両祖忌法要が十月二十五日に岩泉町の洞岩寺様に厳修されました。

第十二教区

二月四日、長圓寺三世中興玉峰龍山大和尚が遷化され、五月二十五日、二十六日に晋山結制・本葬儀が厳修されました。

三月二十五日、二十六日、長泉寺様にて再会結制が厳修されました。

三月二十七日、八戸にて実相寺様の結婚披露宴が行われました。

六月十九日、二十日、徳楽寺様にて晋山式・本葬儀・休廣忌法要が厳修されました。

十月三十日、三十一日、柳善院様にて晋山結制・百周年記念法要が厳修されました。

平成二十三年一月二十九日、三十日、長圓寺様にて先住忌が厳修されました。

総合葬祭・仏壇仏具・神具・花環・生花・盛籠・宮型霊柩

メモリアルセレモニー
柳 有限会社

藤沢 柳齋場 柳ホール
花泉 柳齋場 藤花ホール
柳花みずみ館

本店 岩手県東磐井郡藤沢町保呂羽字二本柳124-1
〒029-3521 TEL 0191-63-3289
FAX 0191-63-3314
花泉店 岩手県一関市花泉町金沢字水門101
〒029-3102 TEL 0191-36-1070
FAX 0191-36-1071

おかげさまで 一度覚えたら忘れないほど**簡単**操作
800ユーザー



檀家管理

一如

「一如」ライト版
29,800円(税込)

■曹洞用語漢字変換辞書 ■墓地図製作 ■ホームページ制作 ■過去帳データ入力

★Stars★ 株式会社スターズコンピュータ
COMPUTER
〒981-3111 宮城県仙台市泉区松森字刺松1-1 TEL 022-771-2897

平成二十三年 東日本大震災 救援活動報告

平成二十三年三月十一日に発生した東日本大震災においては、東北地方太平洋沖地震とそれに伴って発生した津波により県内では現在四千六百四十名の方が亡くなり、二千二百八十五名の方が未だ行方不明となっております。

(七月二十八日現在)
そのような未曾有の大災害の中、当青年会では県内を以下四地区に分けそれぞれ救援活動を行ってまいりました

- (第一ブロック) 久慈市・野田村
- 第二ブロック 宮古市・山田町
- 第三ブロック 釜石市・大槌町
- 第四ブロック 大船渡市・陸前高田町

全体の活動といたしましては、五月三十一日に陸前高田市に於きまして田畑の瓦礫撤去を秋田県曹青と協力して行い、当青年会より二十一名の参加がありました。また、六月十四日には釜石市にて倒壊アパートの片付け、瓦礫の撤去を、秋田曹青協力のもと二十七名で作業を行いました。

更には、七月十一日、東日本大震災物故者追悼法要を県内四地区沿岸寺院を会場に一斉に行っております。

前述の秋田県曹青のほか各県よりご支援いただき、今後も継続的な活動が必要なわけではあります。震災半年ということ、現在までの活動をご報告いたします。

第一ブロック(久慈・野田)

日 時	場 所	活 動 内 容	参加人数
3月29日	野田村 集落センター	センター内瓦礫撤去作業	11名
3月31日	釜石市 旧第一中学校	秋田曹青による足湯の補佐	4名
4月14日	野田村	個人宅の瓦礫撤去	22名
4月20日	野田村 海蔵院避難所・えぼし荘	傾聴ボランティア(行茶)	12名
4月28日	野田村 海蔵院	大練忌法要	7名
5月13日	野田村 野田工業高校・野田中学校	傾聴ボランティア(行茶)	6名

その他 各地火葬場にて被災者火葬

第二ブロック(宮古・山田)

日 時	場 所	活 動 内 容
4月1日	宮古市 江山寺	本堂の片付け
5月12日	田野畑村 宝福寺 海岸ニヶ所	新潟県第四宗務所青年会と合同で慰霊法要
5月25日	宮古市 宝鏡院	埼玉県第7・8教区青年会とともに、ごま豆腐作り
5月26日	宮古市内避難所	炊き出し、ごま豆腐配布
5月31日	山田町	仮設住宅手伝い・支援物資仕分け
7月12日	山田町折笠地区	住居の瓦礫撤去作業
7月13日	宮古市 江山寺	本堂の片付け

第三ブロック(釜石・大槌町)

日 時	場 所	活 動 内 容
3月14日	釜石市 石応禅寺	物資搬入
3月16日	釜石市 石応禅寺 大槌町 吉祥寺	物資搬入
3月25日 ~4月13日	遠野市斎場	読経
3月27日 ~5月8日	大槌町斎場 遺体安置所4ヶ所	読経
3月30日	釜石市 石応禅寺	避難所引っ越しの手伝い
3月31日	釜石市 旧第一中学校 大槌町 吉祥寺	秋田県曹青の足湯の補佐
4月28日	釜石市 盛岩寺	合同葬
4月29日	大槌町 吉祥寺	合同葬
5月24日	釜石市内仮設住宅	山口県曹青の傾聴ボランティア(行茶)の補佐
6月7日	釜石市内仮設住宅	山口県曹青の傾聴ボランティア(行茶)の補佐
6月14日	釜石市	市内個人宅瓦礫撤去
6月17日	釜石市 石応禅寺	身元不明者合同供養
6月21日 ~22日	遠野市 慶雲寺 大槌町	新潟県曹青とともに、ごま豆腐作り ごま豆腐配布
6月30日	釜石市内仮設住宅	秋田県曹青の傾聴ボランティア(行茶)の補佐 物資搬入

第四ブロック(大船渡・陸前高田)

日 時	活 動 団 体	活 動 内 容	参加人数
4月25日	第六教区有志	家屋内の清掃、片付け	7名
5月2日	禅修会(第六教区)	田畑の瓦礫撤去	5名
5月9日	禅修会(第六教区)	陸前高田ボランティアセンター休みの為	中止
5月17日	5・6・7・8・9教区合同	田畑の瓦礫撤去	14名
5月24日	5・6・7・8・10教区合同	側溝の泥上げ	10名
5月31日	岩曹青ボランティア 秋田曹青ボランティア	田畑の瓦礫撤去	20名 30名
6月9日	5・6・7・8・12教区合同	側溝の泥上げ	11名
6月18日		普門寺に於いて被災者卒哭忌法要	
6月23日	5・6・7・8教区合同	地震による津波注意報発令の為	中止
7月6日	5・6・7・8教区合同 禅興会(七教区)	田畑の瓦礫撤去	16名